

7 悪臭関係

7-(1) 悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準（令和4年3月末現在）

① 敷地境界における規制基準

ア 物質濃度

（単位：ppm）

特定悪臭物質の種類	鹿屋市 奄美市		薩摩川内市			湧水町		長島町	
	A 地域	B 地域	A 地域	B 1 地域	B 2 地域	A 地域	B 地域		
アンモニア	1	2	1	2	2	1	2		
メチルメルカプタン	0.002	0.004	0.002	0.002	0.004	0.002	0.004		
硫化水素	0.02	0.06	0.02	0.02	0.06	0.02	0.06		
硫化メチル	0.01	0.05	0.01	0.01	0.05	0.01	0.05		
二硫化メチル	0.009	0.03	0.009	0.009	0.03	0.009	0.03		
トリメチルアミン	0.005	0.02	0.005	0.02	0.02	0.005	0.02		
アセトアルデヒド	0.05	0.1	0.05	0.1	0.1	0.05	0.1		
プロピオンアルデヒド	0.05	0.1	0.05	0.1	0.1	0.05	0.1		
ノルマルブチルアルデヒド	0.009	0.03	0.009	0.03	0.03	0.009	0.03		
イソブチルアルデヒド	0.02	0.07	0.02	0.07	0.07	0.02	0.07		
ノルマルバレルアルデヒド	0.009	0.02	0.009	0.02	0.02	0.009	0.02		
イソバレルアルデヒド	0.003	0.006	0.003	0.006	0.006	0.003	0.006		
イソブタノール	0.9	4	0.9	4	4	0.9	4		
酢酸エチル	3	7	3	7	7	3	7		
メチルイソブチルケトン	1	3	1	3	3	1	3		
トルエン	10	30	10	30	30	10	30		
スチレン	0.4	0.8	0.4	0.8	0.8	0.4	0.8		
キシレン	1	2	1	2	2	1	2		
プロピオン酸	0.03	0.07	0.03	0.07	0.07	0.03	0.07		
ノルマル酪酸	0.001	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002		
ノルマル吉草酸	0.0009	0.002	0.0009	0.002	0.002	0.0009	0.002		
イソ吉草酸	0.001	0.004	0.001	0.004	0.004	0.001	0.004		

イ 臭気指数

区 分	鹿児島市			出水市	日置市	霧島市	さつま町
	A 地域	B 地域	C 地域	A 地域	B 地域		
臭気指数	12	15	18	12	15		

※ 市の区域については、「第2次一括法」の施行（平成24年4月1日）により、市長が独自に指定を行う。

※ 大崎町の区域については、平成26年4月から権限移譲されたことにより、町長が独自に指定。

※ さつま町の区域については、令和3年4月から権限移譲されたことにより、町長が独自に指定。

② 排出口における規制基準

ア 物質濃度

特定悪臭物質(メチルメルカプタン, 硫化メチル, 二硫化メチル, アセトアルデヒド, スチレン, プロピオン酸, ノルマル酪酸, ノルマル吉草酸及びイソ吉草酸を除く。)の種類ごとに①に掲げる規制基準の値を基礎として悪臭防止法施行規則(昭和47年総理府令第39号)第3条に定める方法により算出して得た流量

イ 臭気指数

①に掲げる規制基準の値を基礎として規則第6条の2に定める方法により算出した臭気排出強度又は臭気指数

③ 排出水中における規制基準

ア 物質濃度

(単位: mg/L)

特定悪臭物質の種類	排出水の量の区分	鹿屋市	奄美市	薩摩川内市		湧水町	長島町
		枕崎市	南九州市	A地域	B2地域	錦江町	大崎町
		阿久根市	伊佐市	B1地域		中種子町	東串良町
		指宿市	始良市			和泊町	肝付町
		西之表市	屋久島町				南種子町
		垂水市	瀬戸内町				龍郷町
		曾於市	知名町				徳之島町
		いちき串木野市					
		南さつま市					
		志布志市					
メチルメルカプタン	$Q \leq 0.001$	0.03	0.06	0.03	0.06	0.03	0.06
	$0.001 < Q \leq 0.1$	0.007	0.01	0.007	0.01	0.007	0.01
	$0.1 < Q$	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003
硫化水素	$Q \leq 0.001$	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3
	$0.001 < Q \leq 0.1$	0.02	0.07	0.02	0.07	0.02	0.07
	$0.1 < Q$	0.005	0.02	0.005	0.02	0.005	0.02
硫化メチル	$Q \leq 0.001$	0.3	2	0.3	2	0.3	2
	$0.001 < Q \leq 0.1$	0.07	0.3	0.07	0.3	0.07	0.3
	$0.1 < Q$	0.01	0.07	0.01	0.07	0.01	0.07
二硫化メチル	$Q \leq 0.001$	0.6	2	0.6	2	0.6	2
	$0.001 < Q \leq 0.1$	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4
	$0.1 < Q$	0.03	0.09	0.03	0.09	0.03	0.09

※ Qは工場その他の事業場から敷地外に排出される排出水の量 (m³/s) を表す。

イ 臭気指数

①に掲げる規制基準の値を基礎として規則第6条の3に定める方法により算出した臭気指数

※ 市の区域については、「第2次一括法」の施行(平成24年4月1日)により、市長は独自に指定を行う。

※ 大崎町の区域については平成26年4月から、さつま町については令和3年4月から権限移譲されたことにより、町長が独自に指定。

7-(2) 特定悪臭物質の種類とにおいの特徴

特定悪臭物質名	におい	主な発生源
アンモニア	し尿のようなおい	畜産事業場, 化製場, し尿処理場等
メチルメルカプタン	腐った玉ねぎのようなおい	パルプ製造工場, 化製場, し尿処理場等
硫化水素	腐った卵のようなおい	畜産事業場, パルプ製造工場, し尿処理場等
硫化メチル	腐ったキャベツのようなおい	パルプ製造工場, 化製場, し尿処理場等
二硫化メチル	腐ったキャベツのようなおい	パルプ製造工場, 化製場, し尿処理場等
トリメチルアミン	腐った魚のようなおい	畜産事業場, 化製場, 水産缶詰製造工場等
アセトアルデヒド	刺激的な青ぐさいにおい	化学工場, 魚腸骨処理場, タバコ製造工場等
プロピオンアルデヒド	刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい	焼付け塗装工程を有する事業場等
ノルマルブチルアルデヒド	刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい	焼付け塗装工程を有する事業場等
イソブチルアルデヒド	刺激的な甘酸っぱい焦げたにおい	焼付け塗装工程を有する事業場等
ノルマルバレールアルデヒド	むせるような甘酸っぱい焦げたにおい	焼付け塗装工程を有する事業場等
イソバレールアルデヒド	むせるような甘酸っぱい焦げたにおい	焼付け塗装工程を有する事業場等
イソブタノール	刺激的な発酵したにおい	塗装工程を有する事業場等
酢酸エチル	刺激的なシンナーのようなおい	塗装工程又は印刷工程を有する事業場等
メチルイソブチルケトン	刺激的なシンナーのようなおい	塗装工程又は印刷工程を有する事業場等
トルエン	ガソリンのようなおい	塗装工程又は印刷工程を有する事業場等
スチレン	都市ガスのようなおい	化学工場, FRP製品製造工場等
キシレン	ガソリンのようなおい	塗装工程又は印刷工程を有する事業場等
プロピオン酸	刺激的な酸っぱいにおい	脂肪酸製造工場, 染色工場等
ノルマル酪酸	汗くさいにおい	畜産事業場, 化製場, でんぷん工場等
ノルマル吉草酸	むれた靴下のようなおい	畜産事業場, 化製場, でんぷん工場等
イソ吉草酸	むれた靴下のようなおい	畜産事業場, 化製場, でんぷん工場等

7-(3) 県公害防止条例に基づく特定施設及び規制基準

① 特定施設（県公害防止条例施行規則第5条）

番号	用途区分	施設名
1	獣畜、魚介類又は鳥類の臓器、骨皮、羽毛等を原料とする飼料又は肥料の製造の用に供するもの	(1)原料置場 (2)蒸解施設 (3)乾燥施設
2	菌体かす又はでん粉かすを原料として飼料又は肥料等の製造の用に供するもの	(1)原料置場 (2)乾燥施設
3	パルプ又は紙製造の用に供するもの	(1)蒸解がま (2)薬液回収施設
4	鶏糞乾燥を業とする者が用いるもの	鶏糞乾燥施設
5	でん粉製造の用に供するもの	かすだめ

② 規制基準（県公害防止条例施行規則第7条）

番号	区分	構造等に関する基準
1	番号1及び番号2の項に掲げる施設	次の各号に該当すること (1)工場等は、悪臭が漏れにくい構造の建物とすること。 (2)原材料及び製品等は、悪臭が漏れにくい密封された施設に貯蔵すること。 (3)施設は、密閉構造とし、燃焼法、吸収法若しくは洗浄法又はこれと同等以上の脱臭効果を有する方法で処理すること。
2	番号3の項に掲げる施設	次の各号に該当すること (1)工場等は、悪臭が漏れにくい構造の建物とすること。 (2)施設は、密閉構造とし、燃焼法若しくは洗浄法又はこれと同等以上の脱臭効果を有する方法で処理すること。
3	番号4の項に掲げる施設	次の各号に該当すること (1)工場等は、悪臭が漏れにくい構造の建物とすること。 (2)原材料及び製品等は、悪臭が漏れにくい容器に収納し、又はカバーで覆う等の措置を講ずること。 (3)施設は、密閉構造とし、燃焼法若しくは土壌酸化法又はこれと同等以上の脱臭効果を有する方法で処理すること。
4	番号5の項に掲げる施設	次の各号に該当すること (1)かすが外部に流れ出ないように、囲いを設けること。 (2)悪臭が外部に漏れないように、カバーで覆う等の措置を講ずること。